

令和7年度全国学力・学習状況調査 赤平市内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:43人 中学校数:1校、生徒数:37人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

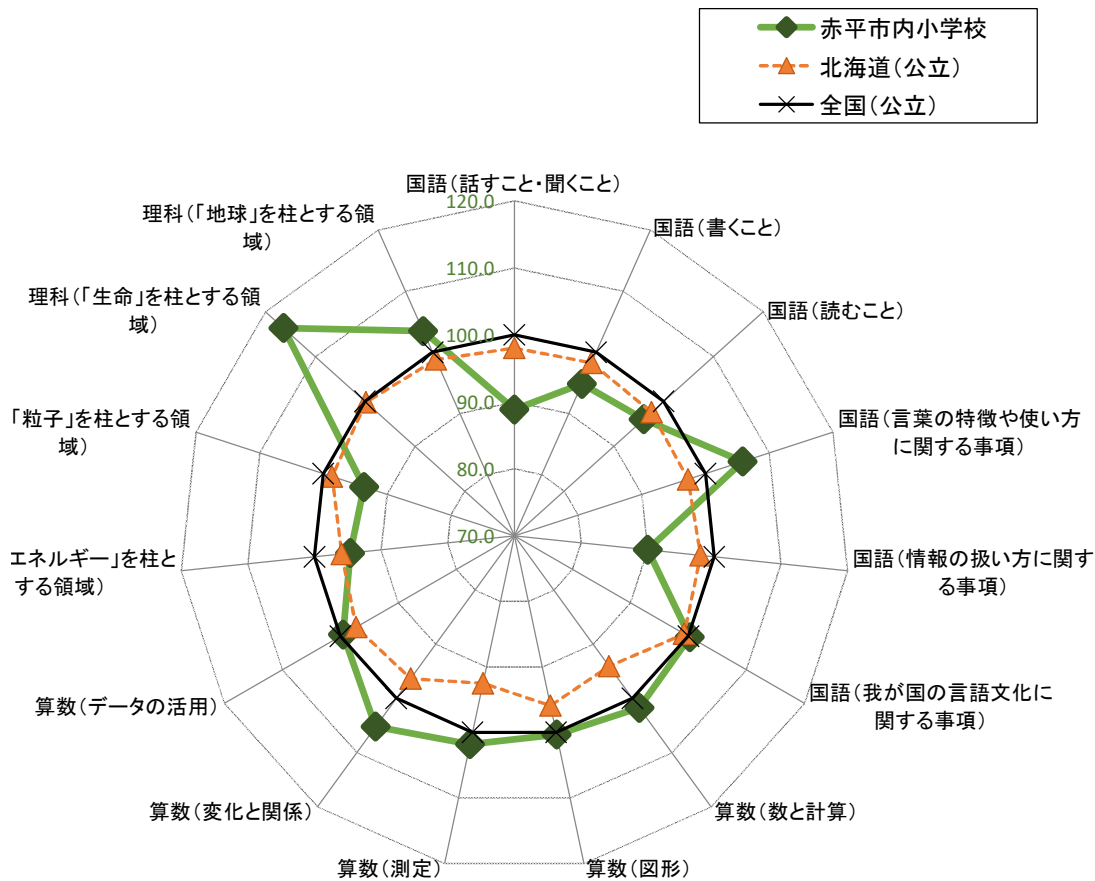
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

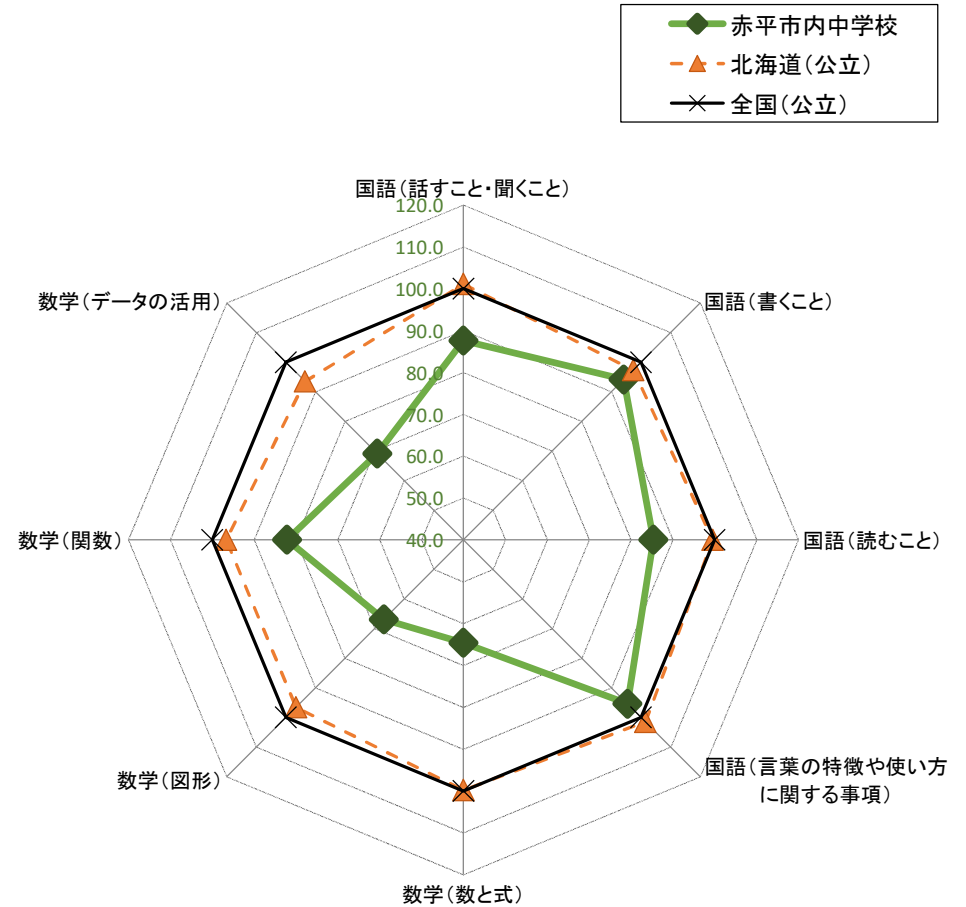
※中学校理科は平均IRTスコア

| | 小学校 | | | 中学校 | | |
|---------|------|------|------|------|------|-----|
| | 国語 | 算数 | 理科 | 国語 | 数学 | 理科 |
| 赤平市 | 64 | 60 | 59 | 49 | 34 | 495 |
| 北海道(公立) | 65.4 | 55.2 | 56.3 | 54.0 | 46.7 | 505 |
| 全国(公立) | 66.8 | 58 | 57.1 | 54.3 | 48.3 | 503 |

小学校



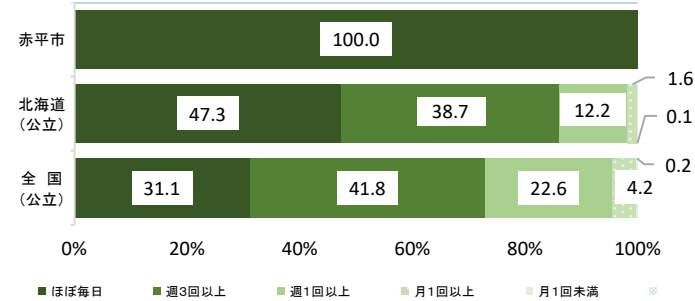
中学校



○ 質問調査の状況

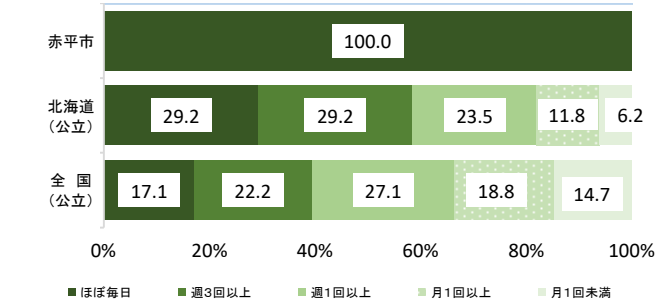
小学校 ＜学校質問＞

児童が自分で調べる場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



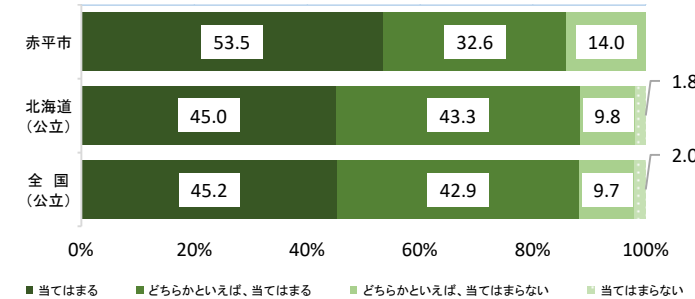
中学校 ＜学校質問＞

生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



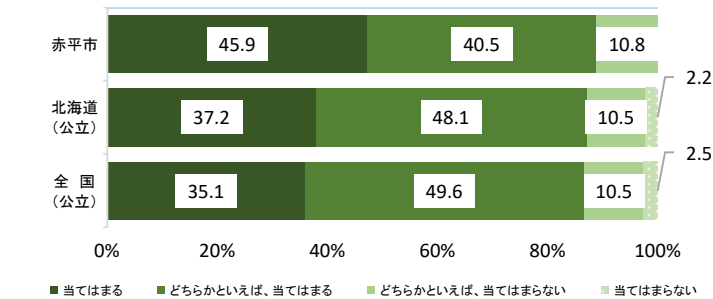
小学校 ＜児童質問＞

PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる



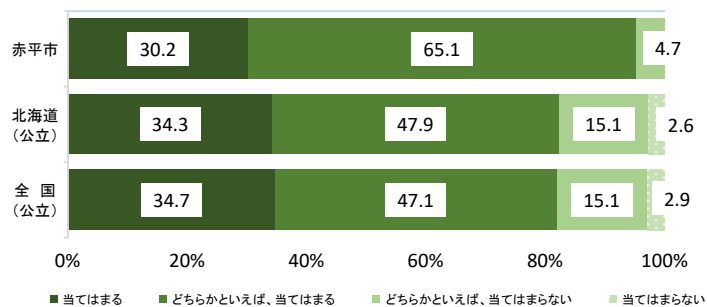
中学校 ＜生徒質問＞

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか



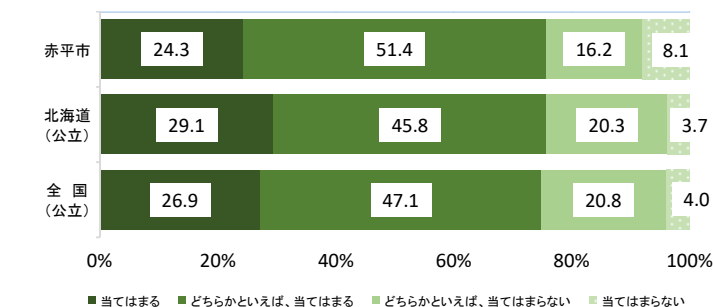
小学校 ＜児童質問＞

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりわくわく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか



中学校 ＜生徒質問＞

国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか



○ 調査結果の分析

・小学校において、自分で調べる場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分ると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校国語及び中学校国語の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は小学校において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていると回答した児童の割合や、中学校において、根拠を明確にして考えていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

・ICT機器を効果的に活用した授業スタイルを確立するための小中連携の推進とICT機器の更新の検討

・AI学習ドリルの導入や英語検定の授業料の補助による学習意欲の喚起と公設塾の継続

・望ましい家庭学習の例示と家庭学習時間の実態把握による家庭学習の取組の充実